

保育宣伝原稿（民間保育園）

○ ご近所のみなさん、ご通行中のみなさん、こんにちは。

私は、私立保育園で働いている保育士です。（民間の保育園で働く者で作っている福祉保育労働組合です）

この場をおかりして、子どもの最善の利益を保証する保育・学童保育・子育て支援の実現を求め、「子どものための予算を大幅に増やし、保育士の確保・定着」や「すべての子どもの保育料と給食費含め無償に」と国・大阪府への署名宣伝行動をさせて頂いています。ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

保育園は、子どもの日々の暮らしを守り、その発達を促し、子育て家族を支えるために不可欠な仕事です。しかし、保育現場は慢性的に人手が足りず、ぎりぎりの職員体制で引き続きコロナ感染対策に追われるなど緊張も強いられ休憩も取れず、こどもや保護者とゆっくりかかわれない状況になっています。

（ できれば現場実態を具体的に ）

保育士を募集しても、低賃金・過密労働では応募もない状態です。一刻も早く保育士配置基準や労働条件の抜本的な改善が必要です。

また、コロナ禍や災害など、どのような状況にあっても、安全・安心で質の高い保育をすべての子どもに保障するためにも、保育に関わる基準や保育者の処遇を抜本的に改善することが必要です。

政府は、「75年ぶりの配置基準改善」として1歳児と4・5歳児の基準改善が盛り込まれましたが、加算での対応で正規職員を雇えるものではなく、十分ではありません。

福祉保育労が取り組んだアンケート調査からも、保育の仕事は「とてもやりがいがある」「やりがいがある」と答えた方は93%です。しかし、辞めたいと「いつも思っている」「時々思う」と答えた方は74%となっており、その理由のトップ3は、「賃金が安い」「忙しすぎる」「体がもたない」となっています。子どもたちによりよい保育を保障するためには、そこで働く職員が生き生きと働き続けられる必要があります。

子どもたちの命・発達を守り、安心できる信頼関係や仕事の専門性の構築は、長く働き続けられる環境があつてこそ成り立ちます。保育職員の賃金改善や大幅増員は喫緊の課題となっています。

私たちは、誰もが安心して子育てができる社会、安心できる保育・学童保育を実現するために、子どものための予算を大幅に増やすこと、保育士等の増員や処遇改善を国・大阪府に求める署名にとりくんでいます。ご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

○ ご近所のみなさん、ご通行中のみなさん、こんにちは。

私は、私立保育園で働いている保育士です。（民間の保育園で働く者で作っている福祉保育労働組合です）

この場をおかりして、安心できる保育・学童保育・子育て支援の実現を求め、「子どものための予算を大幅に増やして、保育士の確保・定着を」と国・大阪府への署名宣伝行動をさせて頂いています。ご支援、ご協力をよろしくお願いします。

保育園は、だれもが安心して子どもを産み育て、働ける社会を実現するために不可欠な社会的資源です。保育を充実することは子どもの権利を保障することにもつながります。しかし、この間、国や大阪府は待機児童解消と保育士不足を補うため、あらゆる規制緩和を進めています。

保育施設での不適切保育や置き去り等あってはならない事故が相次いでいます。国や府は防止策対応マニュアル等だしていますが、人員が増えないなか、ひとりひとりの保育士にますます負担がかかり追い詰められていくばかりです。子どもたちの命と育ちを守る保育基準や保育環境、保育の質の向上が求められています。

日常的に人手不足の保育現場では他人ごとではありません。こどもの命を守るためにも豊かな保育をおこなうためにも、規制緩和に頼らず、大阪府独自の補助制度や上乘せ施策を創設し、施策引上げが必要です。また、保育を支える職員の処遇は低く、労働環境も悪化し、保育士不足が深刻化しています。専門性を蓄積して、働き続けることもむずかしい状況です。

（ できれば現場実態を具体的に ）

この間、私たちの運動もあり、保育士の処遇改善は一定すすめられてきましたが、歴史的な物価高のもと、他産業の賃上げが行われるなど、まだまだ全産業平均に比べ月7～8万円低い格差はうまっています。また、国の低い配置基準から、多くの園では子どもたちにより良い保育をと、独自に人員配置をしており、職員に配分するとわずかな賃上げにしかありません。子どもたちの発達を守り、安心できる信頼関係や仕事の専門性の構築は、長く働き続けられる環境があってこそ成り立ちます。保育職員の賃金改善や大幅増員は喫緊の課題となっています。

私たちは、誰もが安心して子育てができる社会、安心できる保育・学童保育を実現するために、子どもたちのための予算を大幅に増やすこと、職員の大幅増員・賃金の引き上げを国・大阪府に求める署名にとりくんでいます。ご支援とご協力をよろしく願いいたします。